

平成 26 年度 第 1 回地域医療学分野セミナー勉強会

平成 26 年 11 月 14 日

講座名 (責任者名)(内線)	地域医療学分野 責任者名(前田 隆浩) 内線(7189)
演題	鹿児島県あまみ島嶼地域における健康問題と疫学研究
講師等	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 国際離島医療学分野／国際島嶼医療学講座 教授 嶽崎俊郎 先生
概要	<p>鹿児島県あまみ島嶼地域は 100 歳以上の長寿者の割合は多いものの、平均寿命は長くなく、特に男では1～2歳短い。この平均寿命に最も寄与しているのは中年男性の高い死亡率であり、日本人全体における死亡率の 1.5 倍である。これには医療も含め様々な要因が関与しているが、急激な生活習慣の変化も大きく関わっている。離島は社会経済的背景の影響が大きく出やすい特徴を持っており、大洋州の島嶼地域でもグローバル化の影響で糖尿病を始め生活習慣病(NCDs)が増加しつつある。</p> <p>私達は、日本多施設共同コーホート(J-MICC)研究のフィールドの1つとして、鹿児島県あまみ島嶼地域と本土地域で疫学研究を2005年から展開している。</p> <p>本セミナーでは、1)島嶼地域における記述疫学、2)分析疫学としてのゲノムコーホート研究について、その中間的結果も含め、紹介する。地域における疫学研究の方法や役割について理解を深めてもらえば幸いである。</p>
開催日時	平成 27 年 1 月 15 日(木) 18:00 ～19:30
場所	基礎棟2F 小会議室
備考	